

三三九六番

小筑波をづくはの 繁しげき木この間まよ 立たつ鳥とりの 目めゆか汝なを
見みむ さ寝ねざらなくに

三三九七番

常陸ひたちなる 浪逆なさかの海うみの 玉藻たまもこそ 引ひけば絶たえず
れ あどか絶たえせむ

三三九八番

人皆ひとみなの 言ことは絶たゆとも 埴科はにしなの 石井いしゐの手て児こが
言ことな絶たえそね

三三九九番

信濃しなぬち道ちは 今いまの墾はり道みち 刈かりばねに 足踏あしふましむ
な 沓くつはけ我が背せ